

## 普及活動情勢報告（令和6年6月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

### 積年の課題解決で安定生産を目指そう！ ～やっこねぎ部会栽培講習会～



熱心に説明を聞く生産者

香美地区やっこねぎ部会栽培講習会が5月27日から31日に地区ごとに開催され、生産者51名が参加しました。農業改良普及課は安定生産の課題として、①石灰過剰による塩基バランスの崩れ（R5年度62ほ場の分析結果）が他の成分の吸収を阻害していることや、塩類集積ほ場ではEC値が窒素量の目安にならないこと、②生育ステージごとの最適灌水量等について、図表等で説明しました。

参加者からは、土壌分析をしていない、生育が良くないほ場があるといった声があり、早速、分析を依頼する農家もありました。

農業改良普及課は、今後関係機関と連携し土壌分析・診断を進め対策を講じることで、やっこねぎの安定生産を支援します。

### 次期作の準備が着々とスタート！ ～イチネン農園自家育苗等の打合せ～



綿密に打合せ！

6月3日、令和6園芸年度の栽培の反省と、次作の営農計画の確認、育苗方法の検討を目的に、イチネン農園職員2名と関係機関3名で打合せを行いました。

自家育苗の作業内容について一つ一つ確認し、かん水など注意が必要な管理について方法や使う資材を詳しく話し合いました。

農業改良普及課は、定植前後の作業と、定植初期の天敵導入や薬剤防除など病害虫対策のスケジュールについて提案しました。

農園職員からは、「良い苗を育てて収量向上につながるようにしたい」との声が聞かれました。

農業改良普及課は、関係機関と連携し新規参入企業の生産安定を支援します。

### 農福のマッチングに向けて関係機関で協議



集出荷作業を見学

6月5日、JA土佐香美集出荷場において、JA、農業改良普及課、県福祉関係部署、事業所13人が集出荷場の作業への農福連携について協議しました。

まずJA及び農業改良普及課から福祉関係部署や事業所職員に動画を使って作業の流れや内容について説明した後に集出荷場を見学してもらいました。

事業所からは、ニラやネギの袋詰めラインは思った以上に機械音が大きく防音が必要、オクラの選別に慣れるまで別ラインで作業が可能か、など意見や質問が寄せられました。

今後は各事業所で、障害がある人が就労可能と思われる作業を検討してもらい、次回の協議に持ち寄ることになりました。

農業改良普及課では、各関係機関と連携しマッチング支援を行います。

## 露地みかん部会現地研修会！ ～どんな果実を摘果する？～



室内研修の様子

6月7、11、12日にJA高知県香美地区果樹部露地みかん部会が各支部の現地研修会を開催し、生産者のべ53名が参加しました。

研修会では、本年度の着果状況や病害虫の発生を確認し、摘果方法や今後の栽培管理に関する研修を実施しました。

農業改良普及課は、品質向上や隔年結果の是正を目的とした摘果方法のポイントや今後の病害虫対策について説明しました。

生産者からは「この果実は摘果する？」「着果量の少ない樹はどうする？」等の質問が出され、参加者同士で活発に意見交換がされました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、露地みかんの生産安定を支援します。

## 認定農業者の面談を実施 ～5年後に向けた目標・措置を協議～



面談の様子

6月12、13日の2日間、香南市役所において、認定農業者13名（新規認定1名、再認定12名）を対象に面談を行い、農業経営改善計画作成を支援しました。

香南市と農業改良普及課で、経営の現状と課題を聞き取り、今後の計画・目標について農業者と協議しました。農業改良普及課からは、課題に対する改善策などを助言しました。

面談した農家からは「規模拡大をするためには、雇用者の確保が必要である」、「果樹では、繁忙期を分散させるために、今後は複数の品目、品種を組み合わせる行く」などの声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も品目担当と連携した収量向上、経費の見直しを支援する他、施設・農業機械の導入に必要な補助事業の情報提供など目標達成に向けて活動していきます。

## 株の生育状況はどうか！ ～ニラ部会夜須・香我美支部現地検討会～



生育状況を確認する生産者

6月14日、香美地区園芸部ニラ部会夜須・香我美支部が現地検討会を開催し、生産者6名が参加しました。現地では、肥料比較試験ほ場などでの生育状況を確認し、順調に生育していることを確認しました。農業改良普及課は、株養成時期の栽培管理ポイントや主な病害虫対策について説明しました。また、灌水量が把握できる測定センサーやI o Pクラウド「SAWACHI」の機能を紹介しました。

参加者からは、肥料の特徴などの質問がありました。またSAWACHIや灌水量測定センサーを利用している農家の感想などが共有されました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、ニラの安定生産を支援するとともに「SAWACHI」の利用を進めます。